

平成26年度 農産物検査員育成研修基礎課程研修会

日時：平成26年4月14日(月)～18日(金)

場所：北農ビル19階(札幌市)

本年も全道より125名の受講生が農産物検査員育成研修会に参加し、
5日間をかけ検査員としての基礎を学びました。

主催者挨拶



一般社団法人 北海道米麦改良協会
岡本 英俊 専務理事

農産物検査は地元の農産物の品質証明と適正な流通の維持に繋がり、消費者と生産者相互の利益を得るものであることや、適正な農産物検査を実施するためには検査員の法令や規程の遵守する自覚が重要であるのでしっかり身に付ける様期待する旨の挨拶をしました。

来賓挨拶

北海道農政事務所 農政推進部 業務管理課
森田 宏美 課長

現在、北海道の登録検査機関は6団体で986名の検査員登録があり、今年も多くに受講生が育成研修に参加している。今回も5日間の基礎課程から履修を初め、検査員は農産物検査法の目的である農産物の公正かつ円滑な取引と品質改善を目指す様、頑張ってもらいたい旨の挨拶を頂きました。



主な講義内容

4月14日

開講式
農産検査の役割、検査員の職務・心得
農産検査法、基本要領、
登録検査機関について

4月15日

JAS法、経営所得安定対策、
食糧法について(外部講師)
農産物検査規格規程
検査実施マニュアル I

4月16日

検査実施マニュアル II～III
標準計測、検査機器の
試験マニュアル
鑑定、分析機器、はかり、ふるい目、等
級証印について

4月17日

検査標準品、限界基準品について
北海道米麦改良協会の
業務規程について
産地品種銘柄(米/麦/大豆)の
特性等について
検査機器の使用実習
総括補講①

4月18日

総括補講②
筆記試験
閉会式



受講生のみなさん



講師のみなさん(道協会)



講義

協会 塚本部長



講義

農政事務所

経営・事業支援課 秋山 憲孝 課長

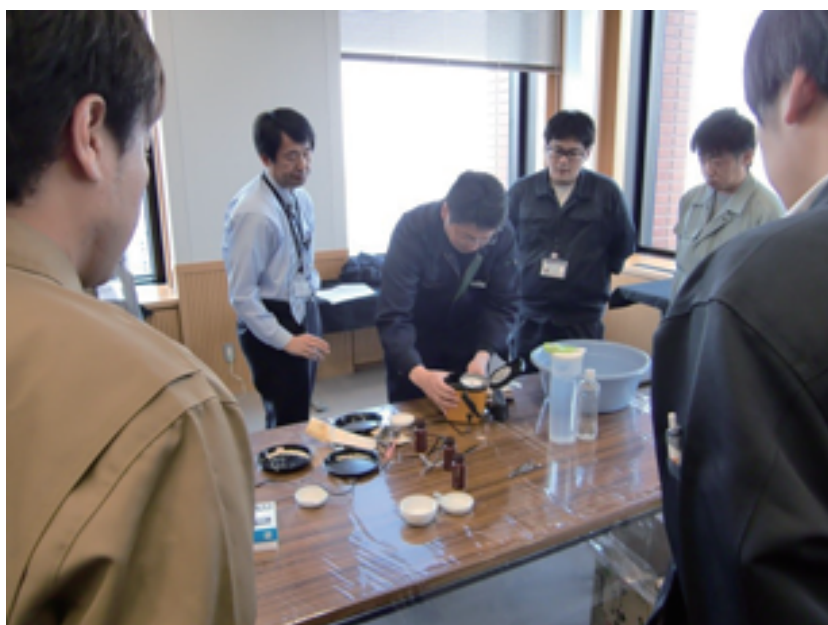
経営所得安定対策について



検査機器実習



標準品の鑑定実習



うる・もち判定実習



筆記試験

閉会挨拶



一般社団法人 北海道米麦改良協会
高橋 幸雄 事務局長

基礎課程の筆記試験への合格のお祝いと、今後JA グループ北海道の協会の登録検査員の一人として、検査業務に向け実技研修等で検査鑑定技術の研鑽に精進することが必要であることや現在道協会で直面している検査法や業務規程を遵守しない事故について、先輩検査員とともに根絶に向け、適正な検査知見を伝承し努力をして欲しい旨、挨拶を致しました。